

対策・試験・研究履歴①

平成10年～ 16年まで

P. 1

時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
1	10年6月				第三農場		東北畜研の例会にて散布試験			
2	10年7月	～	11年6月		第三農場		第三農場で1年間本格採用	約40万円/月	約480万円	
3	11年7月	～	11年8月		第三農場		試験的に2ヶ月使用	約50万円/月	約100万円	
4	11年7月	～	12年1月		第二農場		試験的に7ヶ月使用	約40万円/月	約280万円	
5	11年9月	～	11年11月		第三農場		試験的に3ヶ月使用	約60万円/月	約180万円	
						約15万円/月		約45万円		
7	11年12月	～	12年3月		第三農場		試験的に4ヶ月使用	約35万円/月	約140万円	
8	11年12月	～	12年2月		第三農場		試験的に3ヶ月使用	約30万円/月	約90万円	
9	11年12月	～	12年2月		第三農場		試験的に3ヶ月使用	約25万円/月	約75万円	
10	11年12月				新潟県		川作ファームを視察			
11	12年1月				第三農場		試験のみ	約25万円/月	約25万円	
12	12年1月	～	12年10月		第三農場		試験のみ			
13	12年1月				新潟県		町農政課・大河原家畜保健所と視察			
14	12年2月	～	13年7月		第二農場		1年半使用	約30万円/月	約540万円	
15	12年3月	～	12年3月		第三農場		1ヶ月試験	約40万円/月	約40万円	
16	12年3月	～	12年4月				試験的に2ヶ月使用	約10万円/月	約20万円	
17	12年3月						契約料180万円で契約			契約料 180万円
18	12年3月	～	12年10月		第三農場		8ヶ月間試験	約25万円/月	約200万円	
19	12年3月	～	12年10月		第三農場		8ヶ月間試験			
20	12年3月	～	12年10月		第三農場		8ヶ月間試験	約25万円/月	約200万円	
21	12年3月				新潟県		東北農政局・宮城県・県農業公社と視察			
22	12年4月	～	継続中		全農場		全ての飼料に添加			
23	12年7月	～	12年11月		第三農場		5ヶ月試験	約30万円/月	約150万円	
24	13年8月	～	13年12月		第二農場		5ヶ月間試験	約30万円/月	約150万円	
25	12年8月				横浜市		町役場・大河原家畜保健所と視察			
26	12年9月									
27	13年3月				第三農場		離乳舎にオゾンエアとオゾンミストを導入			導入費 約700万円
28	13年6月				第一農場		醗酵プラントにオゾンエアを導入			導入費 約1,000万円
29	13年7月					醗酵プラントにオゾンミストを導入				
30	13年7月				第三農場		集糞所にオゾンエアを導入			
31	13年7月				第三農場		オゾン脱臭の成果調査①			
32	13年8月				第一農場		醗酵プラントにオゾンミストを追加増設			
33	13年9月				第三農場		肥育舎にオゾンミストを導入			導入費 約77万円
34	13年9月				第三農場		オゾン脱臭の成果調査②			
35	13年11月				第三農場		オゾン脱臭の成果調査③			
36	14年1月				第一農場		醗酵プラントにオゾンエア・ミストを増設			導入費 約65万円
37	14年1月	～	14年4月		第一農場		16号舎に浄化槽活性水を供給			
38	14年1月	～	14年10月		第二農場		第二農場で10ヶ月間試験採用	約30万円/月	約300万円	
39	14年2月	～	14年3月		第一農場		醗酵プラントに活性炭ダストを投入		購入費 65万円	
40	14年2月	～	14年4月		第一農場		醗酵プラントに温風を吹き込み	約20万円/月	約60万円	
41	14年3月						大河原町と宮城県に提出			
42	14年3月				第三農場		肥育舎にオゾンエアを導入			導入費 約930万円
43	14年3月				第一農場		浄化槽原水エリアにオゾンエアを導入			
44	14年3月				第三農場		離乳舎排気出口にオゾンエアを増設			
45	14年4月						Bio-04の検討			

	時 期		項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
46	14年5月		湿式オゾン脱臭システム視察	岩手県胆沢町	胆沢堆肥センターの湿式オゾン脱臭システムを視察			
47	14年6月		宮城県保健環境センターの研究調査に協力	第三農場	オゾン脱臭の成果調査④			
48	14年8月		離乳豚舎Ⅱ号を増築	第三農場	収容密度の緩和による臭気強度の改善			建設費 約8,000万円
49	14年8月		オゾン脱臭システム導入	第三農場	離乳舎Ⅱにオゾンエアー・ミストを導入			導入費 約850万円
50	14年8月		オゾン脱臭システム導入	第三農場	離乳舎Ⅱ南側排気に防塵壁を設置			
51	14年8月		オゾン脱臭システム追加増設	第三農場	離乳舎ⅠとⅡの間をオゾン反応空間としオゾンエアーノズルを外部に設置			
52	14年9月		オゾン脱臭システム検討		脱臭効果増強のためメーカーと協議			
53	14年9月		オゾン脱臭システム視察	福島県川内村	(有)あぶくま農場(30万羽養鶏)を視察			
54	14年9月		オゾン脱臭システム改善	第三農場	集糞所オゾン反応強化の為ビニールシートで囲む			
55	14年9月		オゾン脱臭システム改善	第三農場	集糞所オゾン用ブロアー容量アップ			
56	14年9月		通気性防水シートの検討		醗酵プラントの密閉化検討			
57	14年9月		密閉方式の検討		醗酵プラントの密閉化検討			
58	14年9月		木酢液・竹酢液によるミストの検討		畜舎内噴霧の検討			
59	14年9月		臭気対策経過報告書Ⅱを提出		大河原町と宮城県に提出			
60	14年10月		オゾン脱臭システム視察	丸森町	(株)サンエスブリーディングのオゾンシステムを視察			
61	14年10月		醗酵プラントの密閉化	第一農場	シートや暖簾による閉鎖処置			
62	14年10月		醗酵プラントの密閉化	第一農場	作業終了後の出入り口扉の閉鎖			
63	14年10月		純植物性消臭剤 F118の噴霧テスト	第一農場	醗酵プラントにて噴霧試験			
64	14年10月		純植物性消臭剤 F118の噴霧テスト及び計測	第一農場	醗酵プラントにて噴霧試験と検知管による計測			
65	14年10月		醗酵プラントの視察	中田町上沼	宮城県養豚経営者会議で大泉養豚組合を視察			
66	14年10月		宮城県保健環境センターの研究調査に協力	第三農場	オゾン脱臭の成果調査⑤			
67	14年10月		オゾン脱臭システム追加増設	第三農場	肥育舎Ⅰ・Ⅱのモニター部に専用設置オゾン倍量			導入費 約400万円
68	14年11月		オゾン脱臭システム追加増設	第三農場	離乳舎Ⅰ排気ファンのオゾン発生量を3倍に強化			導入費 約400万円
69	14年11月		オゾン脱臭システム改善	第三農場	離乳舎Ⅰオゾン噴霧方法をエアーカーテン状に改良			
70	14年10月	～ 15年4月	BNバランスの飼料添加試験	第二農場	肥育舎Ⅲに於いてテスト	約25万円/月	約175万円	
71	14年11月	～ 15年4月	RB-2000NEWの飼料添加試験	第二農場	20号豚舎にてテスト	約20万円/月	約120万円	
72	14年11月		町・県との臭気対策会議に出席		町役場庁舎にて			
73	14年11月		臭気対策経過報告書Ⅱ-1を提出		町・県との臭気対策会議に提出			
74	14年11月	～ 14年12月	純植物性消臭剤F118の間欠噴霧試験開始	第一農場	醗酵プラントにて仮装置での噴霧試験	約10万円/日	約180万円	
75	14年11月	～	脱臭ブロアー運転方法の変更試験	第一農場	醗酵プラント脱臭ブロアーの運転プログラム変更			
76	14年12月	～ 15年2月	細粉碎木くずの投入試験	第一農場	醗酵プラントに廃パレット粉碎チップを投入			
77	14年12月		JAあさひな堆肥センターを視察	大郷町	スメルダウンの視察			
78	14年12月	～ 15年9月	スメルダウンの浸漬試験	第一農場	分娩豚舎1室に浸漬			
79	14年12月	～ 15年9月	スメルダウンの浸漬試験	第一農場	浄化槽原水関係に浸漬し定期的臭気濃度計測	採用時 リース料 約600万円/2年		
80	14年12月	～ 15年9月	スメルダウンの浸漬試験	第二農場	汚水ピットに浸漬し定期的臭気濃度計測			
81	14年12月	～ 15年9月	スメルダウンの浸漬試験	第三農場	汚水ピットに浸漬し定期的臭気濃度計測			
82	14年12月		県養豚経営者会議と県産業経済部畜産課の懇談会参加		消臭・脱臭の積極的研究開発と指導を要請			
83	14年12月		湿式オゾン脱臭システムの検討		費用対効果とイニシャルコストの面から断念			
84	14年12月		純植物性消臭剤 F118の畜産向資材の試験	第一農場	醗酵プラントで畜産用新製品の継続的間欠噴霧	約3万円/日	約250万円	
85	14年12月		純植物性消臭剤F118本格的導入の検討		醗酵プラントへの導入設計に着手			
86	14年12月		ミラクリーンの噴霧試験	第一農場	事務所・管理室等で確認噴霧			
87	15年1月	～ 15年9月	パチルパワー水の検討	第一農場	デモ機による浄化試験		試験費 120万円	
88	15年1月		仙南保健所と県保健環境センターの立入り調査	第一農場	敷地内及び敷地境界でのサンプリング			
89	15年1月		JAみやぎ登米の米山堆肥センター視察	米山町	町認定農業者協議会の畜産研修で町職員と同行			
90	15年1月		臭気対策経過報告書Ⅲを提出		大河原町農業委員会に提出			

	時 期		項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
91	15年2月		純植物性消臭剤F118本格的導入を決定		オゾンエアーとの併用			
92	15年3月	～	純植物性消臭剤F118細霧運転開始	第一農場	醱酵プラントにて常時細霧			導入費 約1500万円
93	15年3月		醱酵プラント臭気漏出対策	第一農場	投入口及び取り出し口に厚ビニール暖簾を施工			
94	15年3月		醱酵プラント臭気漏出対策	第一農場	施設被覆材の張替え整備			
95	15年3月		改善措置完了報告書の提出		1月の立入り調査に対し県に報告			
96	15年3月	～ 15年5月	ヒューマスの飼料添加試験	第一農場	16号豚舎にてテスト		試験費 50万円	
97	15年4月	～ 15年5月	ヒューマスの堆肥混合試験	第一農場	醱酵プラントにて生糞混合投入			
98	15年4月		社外からの醱酵処理物の制限	第一農場	醱酵プラントへの搬入制限			
99	15年5月	～ 15年6月	CYCの飼料添加試験	第二農場	肥育豚舎にてテスト			
100	15年7月		BN-21の検討					
101	15年8月		純植物性消臭剤 F118の畜産向資材の改良		配合成分の割合変更	約65万円/月	約1,000万円	←(16年12月迄)
102	15年9月		オゾン脱臭システム改善	第一農場	オゾン発生量を最大に引き上げ			
103	15年10月		オゾン脱臭システム改善	第三農場	オゾン発生量を最大に引き上げ			
104	15年10月		自主調査の実施(2週間)		町内への影響調査			
105	15年10月	～ 15年11月	活性炭ダストの再試験	第一農場	醱酵プラント全体への混合投入		購入費 50万円	
106	15年11月		純植物性消臭剤F118細霧運転の増強	第一農場	細霧ノズルの増設			
107	15年11月		F118の畜産向資材の調整割合の再改良		配合成分の割合変更			
108	15年11月		オゾン脱臭システム改良	第三農場	肥育舎用オゾンブロアーの入り口改善			
109	15年11月	～	廃木材炭化物の検討					
110	15年11月	～	プロキシム(二酸化塩素)の検討					
111	15年12月	～	セラミック炭の検討					
112	15年12月		宮城県指導農業士交流会に参加	鹿島台町	畜産排泄物共同処理場を視察			
113	16年2月	～ 16年3月	光合成菌による醱酵試験	第一農場	醱酵プラント醱酵槽への散布			
114	16年3月	～	粉末シルクの検討					
115	16年3月		仙南保健所と県保健環境センターの立入り調査	第一農場	敷地内及び敷地境界でのサンプリング			
116	16年3月		F118細霧用コンプレッサーのオーバーホール実施	第一農場			修理費 約45万円	
117	16年4月	～	乳酸菌生成エキスの検討					
118	16年4月	～	ステビアの検討					
119	16年6月	～	石膏加工品の検討					
120	16年7月	～	ゼオライトの検討					
121	16年7月	～ 16年9月	ハーブ含有飼料の飼料添加試験	第一農場	16号豚舎にてテスト			
122	16年8月	～ 16年10月	キッチン・キトサン混合資材カリビートの試験	第二農場	飼料添加試験		約300万円	←(通常購入の場合)
123	16年9月	～ 16年10月	カリビートの醱酵プラント散布試験	第一農場	醱酵プラント醱酵槽への散布			
124	16年8月	～	高濃度オゾン水の検討					
125	16年9月	～	薄上醱酵菌の検討					
126	16年9月	～	社外からの醱酵処理物の全面受け入れ中止	第一農場	醱酵プラントへの搬入軽減			
127	16年10月	～	古草菌の飼料添加	全農場	全飼料に対しユッカ抽出物・乳酸菌と共に追加添加			
128	16年11月		仙南保健所と県保健環境センターの立入り調査	第一農場	敷地内及び敷地境界でのサンプリング			
129	16年11月		宮城県田尻町より、臭気対策等について、視察受入					
130	16年11月	～ 16年12月	強相関電子技術の試験器取り付け試験	第三農場	強相関電子活性水の利用			
131	16年12月		消臭剤F118細霧用コンプレッサー故障あり	第一農場	醱酵プラント内一時消臭オゾンのみとなる			
合 計							約 5,400万円	約 6,100万円
平成10年～16年までの臭気対策合計額(離乳舎建設8,000万円除く) 約1億1,500万円								

対策・試験・研究履歴②

平成17年1月～12月

P. 4

時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・維持経費	イニシャルコスト
132	17年1月		消臭剤F118細霧用コンプレッサー故障機修理完了	第一農場		故障中はリース機使用			修理・オーバーホール費	
133	17年1月		消臭剤F118細霧用配管等オーバーホール完了						約120万円	
134	17年1月		強相関電子技術の試験器取り付け試験の中止	第三農場		全く効果なし				
135	17年1月		町・県との臭気対策会議に出席	町役場庁舎		県、家畜保健衛生所・普及S.町、関係各課にて協議				
136	17年1月	～	植繊機処理パークチップの混合投入部分試験開始	第一農場		醗酵プラント4～5レーンに投入時に混合してみる	約35万円/月	約420万円/年		
137	17年1月		宮城県養豚研究会の研究集会に出席	古川農試		この席で県産業技術総合センターの紹介を受ける				
138	17年1月	～	オゾン脱臭の再強化システムの検討開始			醗酵プラントの消臭再強化について				
139	17年1月		神鋼造機(株)と打合せ			植繊機処理パークチップの利用方法検討				
140	17年2月	～	植繊機処理パークチップの混合投入全レーン試験開始	第一農場		醗酵プラント全レーンに投入時に混合してみる	約65万円/月			
141	17年2月	～	F118消臭再強化システムの検討開始			メーカー本社の専務取締役と相談				
142	17年2月		消臭剤F118細霧用希釈装置濃度変更	第一農場		希釈濃度を上げる	約80万円/月	約1,000万円/年		
143	17年2月		大分県東国東地方振興局農業振興課より視察に来場	第一農場		農業振興課職員二人による臭気対策モデル視察				
144	17年2月		県産業技術総合センターに臭気対策の相談に伺う	県産技センター		東北大学院鈴木啓一助教授(養豚研会長)の紹介で				
145	17年2月	～	リセルバーの検討開始			リセルバー処理の紹介				
146	17年2月		町農政課に臭気対策現状図を提出			苦情時の説明用として				
147	17年2月		県産業技術総合センターより現場の状況確認等で来社	第一農場		鈴木部長と研究員の3名に現場を診て貰う				
148	17年2月		ヒルズHPへの投稿に対し回答メールを送る			大河原町内在住者				
149	17年3月		ヒルズHPを更新する			ヒルズHPでの臭気対策の公表欄を更新する				
150	17年3月		日本土壌協会 猪俣専務理事等の堆肥関係セミナー参加	うさくら		堆肥の作り方等のセミナー受講				
151	17年3月		日本土壌協会 猪俣専務理事に来場頂く	第一農場		醗酵プラントと肥料を診てもらう				
152	17年3月		宮城県農業高等学校より環境対策等の見学に訪れる							
153	17年3月		科学飼料研究所の悪臭対策資材「201」(ニオワン)の検討開始							
154	17年3月		福島県本宮町より視察来場			環境対策等の視察				
155	17年3月		県資源循環推進課より現地状況確認に来社(岩淵・遠藤両氏)	第一農場		県産業技術総合センター鈴木部長より紹介				
156	17年3月		豊里堆肥センターを視察する	豊里堆肥S		大河原家畜保健衛生所さんの取り計らいにて				
157	17年3月	～ 17年4月	悪臭対策資材201プラスの散布及び飼料添加試験を実施	第三農場		特別な効果なし				
158	17年4月		JAあさひな堆肥センター小野場長に来社頂き相談する			現場をご覧頂き詳しく相談。県資源循環推進課の紹介				
159	17年4月		町内3農場飼養頭数削減計画の第五農場一期工事着工	白石市		肥育豚1750頭分の畜舎と浄化槽・堆肥舎関係				
160	17年5月		消臭剤F118細霧用希釈装置故障あり	第一農場		希釈部装置の交換		約20万円		
161	17年5月		日本製紙(石巻)より炭化物による消臭の紹介を受ける			県資源循環推進課より紹介				
162	17年6月		町内3農場飼養頭数削減計画の肥育舎改造工事着工	第一農場		肥育豚舎から妊娠種豚舎に改造				
163	17年6月		グローバルピッグファームグループの海外研修に参加	米国		ミネソタ・アイオワ州				
164	17年6月		県産業振興機構より強酸性水等の技術紹介を受ける							
165	17年6月		県産技S鈴木部長、西野東北大名誉教授、通産局来場			今後の消臭対策について協議・指導を受ける				
166	17年6月		醗酵プラントの天窓部の開口面積を半分以下に抑える							
167	17年7月		日本微生物化学(株)社長来社			有用微生物配合資材の紹介				
168	17年7月		町内3農場飼養頭数削減計画の離乳舎増築工事着工	第三農場		今までの離乳11室に3室を増設				
169	17年7月		宮城県養豚研究会に出席	古川農試		研究集会に参加				
170	17年7月		山形県JA鶴岡養豚部会より視察に来場			環境対策等の視察				
171	17年7月		町内3農場飼養頭数削減計画の第五農場一期工事完成	第五農場						
172	17年8月		白石市 第五農場 肥育舎1・2使用開始	第五農場		肥育豚1750頭白石市へ移動				
173	17年8月	～	F118消臭新システム【フィトンチッド】の検討開始			今までと違うF118消臭剤の活用方法				
174	17年8月		竹炭による消臭の紹介を受ける			大河原農業改良普及センター及び地元有力者より				

期	項目	場所	内容	ランニングコスト	運転・維持経費	イニシャルコスト
175	17年8月		竹炭による消臭を実践している竹鶏ファームを訪問	白石市	竹炭消臭について聴取	
176	17年8月		竹鶏ファームの紹介で竹炭消臭開発者の安倍氏を訪問	白石市	臭気問題の実情を相談	
177	17年8月		安倍氏に町内3農場を診て貰う		農場の実態を診て貰う	
178	17年8月		オゾン消臭装置関係の定期メンテナンスを実施			約30万円
179	17年8月		JA古川養豚部会より視察に訪れる		環境対策等の視察	
180	17年8月		糞尿乾燥・炭化装置の紹介を受ける		(株)アコードシステム	
181	17年8月		町内3農場飼養頭数削減計画の第五農場二期工事着工	第五農場	肥育舎3・4 肥育豚4, 250頭分	
182	17年9月		町内飼養頭数削減計画の肥育舎を種豚舎に改造完了	第一農場		
183	17年9月		弱酸性次亜塩素酸水(スーパ次亜水)の紹介を受ける		イシイ(株)	
184	17年9月		簡易デジタル臭気計を準備する		臭気濃度把握及び試験効果確認用	
185	17年9月		安倍氏と技術開発及び指導のコンサル契約を結ぶ			指導契約料 300万円
186	17年9月		安倍氏と豚糞無臭化の実験を行う	第二農場	成果得るに至らず	
187	17年10月		安倍氏に開発の為の町内3農場の基礎データを提出		位置、配置図、面積、収容形態、飼料の内容等	
188	17年10月		消臭剤F118細霧用コンプレッサーを大容量に変更	第一農場	22kwの大型で能力アップ、消臭剤使用量倍増	約80万円／月 約1,000万円／年 改造含導入費 約530万円
189	17年10月		日本車両より消臭対策の紹介あり			
190	17年10月		ヨモミールを第一農場の各所で焚いてみる	第一農場	ヨモギの線香に利用した余剰物の粉末	約14万円／月
191	17年10月	～	フイトンチッドの実験導入の設計開始			
192	17年10月		宮城県養豚経営者会議の勉強会に出席	松島町	EM菌の紹介を受ける	
193	17年11月		日本膜分離学会【膜分離技術研究会】に出席	気仙沼市	事例紹介を依頼される	
194	17年11月		南郷町より視察に来場		環境対策等の視察	
195	17年11月		EM菌について東北EM流通センターより詳しい説明に来社		県豚会議会員の紹介者同行	
196	17年11月		フイトンチッドのデモ機導入で消臭試験開始	第三農場	既設離乳舎の1部屋のみで連続噴霧試験	
197	17年11月		仙南保健所と県保健環境センターの立入り調査が入る	第一農場	敷地境界内でのサンプリング	
198	17年11月		離乳舎オゾン発生器修理1台	第三農場		約10万円
199	17年11月		安倍氏の紹介で消臭・醗酵分解資材ガストルの試験実施	第一農場	醗酵プラントへの散布混合試験	
200	17年11月		安倍氏の紹介でガストルのメーカーと対談		醗酵・堆肥化等の説明を受ける	
201	17年11月		ガストルのメーカーに第一農場を診て貰い相談する	第一農場		
202	17年11月		ヨモミールを第三農場の各所で焚くようにする	第三農場		約14万円／月
203	17年11月		生物活性酵素液や生菌剤等の紹介を受ける		時ソイルサイエンス社	
204	17年11月		フイトンチッドの部分的本格導入の決定。設計開始	第三農場	増築離乳舎をオゾンでなくF118フイトンチッドに決定	
205	17年11月		仙南保健所と県保健環境センターの立入り調査結果が出る	第一農場	規制基準値内の結果であった	
206	17年12月		町HP掲示板への投稿に対し回答書を提出		大河原町役場農政課へ	
207	17年12月		町内3農場飼養頭数削減計画の離乳舎増築工事完成	第三農場		
208	17年12月		増築離乳舎の排気ファン部分に囲いを廻す	第三農場	オゾン及び消臭剤と臭気の混合・反応の強化	
209	17年12月		増築離乳舎の周囲に消臭効果あると言われるヒバを植樹	第三農場		
210	17年12月		フイトンチッドを増築3部屋に設置完了	第三農場		導入費 約720万円
211	17年12月		町内3農場飼養頭数削減計画の離乳舎増築部使用開始	第三農場		
212	17年12月		フイトンチッドを従来施設離乳2部屋に増設置する	第三農場		増設費 約30万円
合計					期間合計額	約 4, 090万円
				平成10年～17年までの臭気対策合計額		約 1, 580万円
				約1億7, 170万円		

対策・試験・研究履歴③

平成18年1月～19年1月まで

P. 6

時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
213 17年1月～18年3月	植織機処理バークチップの混合投入試験の休止	第一農場	未分解チップ残留の為			
214 18年1月	町・県との臭気対策会議に出席	町役場庁舎	県、家畜保健衛生所・普及S。町、関係各課にて協議			
215 18年2月～	フィトンチッド消臭装置の肥育舎への導入を検討					
216 18年2月	研究開発研究室 安倍氏とTELで協議					
217 18年3月	フィトンチッドの肥育舎への導入検討の為の噴霧装置試験	第一農場	配管噴霧のテスト			
218 18年3月	フィトンチッドの肥育舎への導入検討の為の細霧装置試験	第一農場	細霧ファンのテスト			
219 18年3月～	ライトミネラル(リモナイト鉱石精製物)の検討		(株)日本リモナイト			
220 18年4月～	グローリッチ・ネオ(セオライト・木酢精製液、他)の検討		丸善薬品			
221 18年4月	フィトンチッド装置の清掃・メンテナンス実施	第三農場				
222 18年5月	F118消臭装置の修理・メンテナンス	第一農場	希釈装置の消耗部品の交換			
223 18年5月～	CFW(クリアフィルトウォーター)の調査・検討		安定化次亜塩素水の作製・噴霧システム			
224 18年6月～	ビオカルボM(天然オーク材の炭化物)の検討		明治製菓			
225 18年6月	フィトンチッド装置の清掃・オーバーホールの実施	第三農場				
226 18年6月	オゾン消臭装置のメンテナンス実施	第一・三農場				
227 18年7月～18年9月	竹炭粉・木炭粉の応用検討					
228 18年8月	消臭管(水を機能化させて飲ませる)の紹介を受ける		(株)セキネ			
229 18年8月	JHFC(燃料電池関係)・ブルータワー(水素製造プラント)視察	横浜・出雲	伊勢県会議員との視察			
230 18年9月	フィトンチッド装置の希釈用ポンプ不調の為交換	第三農場				
231 18年9月	極強力磁石の紹介を受ける		(株)スーパーマックスUSA			
232 18年9月	極強力磁石のテスト器取付け	第一農場				
233 18年10月	長野県安曇野市議会よりの視察受け入れ		臭気対策と糞尿処理について			
234 18年10月	極強力磁石のテスト器取付け	第三農場				
235 18年10月	マイナスイオン資材の紹介を受ける		加美町の菌草きのこ会社エスプワールより			
236 18年10月	宮城県養豚経営者会議の視察に参加	米山町	みずの養豚			
237 18年10月	エコロクリスタルCS(天然ミネラル酵素)の紹介を受ける		(株)コステム			
238 18年11月	楽農工房(有用微生物・酵素での活性水)の紹介を受ける		(株)木戸、京葉プラントエンジニアリング(株)			
239 18年11月	ディレカ(電子活性水)の紹介を受ける		伊達薬品			
240 18年11月	研究開発研究室 安倍氏と協議	白石市				
241 18年11月	におい・かおり環境協会への援助要請を検討		GPF河島本部長に会社して貰う			
242 18年11月	仙南保健所から臭気測定調査に来たが採取出来なかった	第一農場				
243 18年11月	フィトンチッド装置の清掃・メンテナンス実施	第三農場				
244 18年11月～19年1月	NB-81の飼料への添加試験を行う	第三農場				
245 18年11月～19年1月	NB-81の飼料への添加試験を行う	第五農場				
246 18年12月	フィトンチッド装置の清掃・メンテナンス実施	第三農場				
247 18年12月	オゾン消臭装置の清掃・オーバーホールの実施	第三農場			約39万円	
248 18年12月	仙南保健所より臭気測定調査に来場	第一農場	仙南保健所と宮城県保健環境センターで採取			
249 19年1月	フィトンチッド装置の清掃・オーバーホールの実施	第三農場				
250 19年1月	仙南保健所から臭気測定調査の結果通知が届いた	第一農場	規制基準値超過の結果であった			
251 19年1月	オゾン消臭装置の清掃・オーバーホールの実施	第一農場			約45万円	
252 19年1月	醗酵プラントの攪拌機の運転時間を夜間に変更	第一農場	深夜の時間帯に行う様に制御盤を改造		約40万円	
253 19年1月	湿式オゾン消臭を視察	宮城県北部				
254 19年1月	三友機器(株)のコンポ富士を視察	岐阜県	銭坂畜産、肩野ピッグファーム、他を視察			
255 19年1月	宮城県養豚研究会の研究集会(臭気対策関係)に出席	大崎市古川	ヒルズ社長、専務、倉繁場長とGPF河島部長の4名			
合 計			(F118消臭剤及びコンプレッサー動力費含む)	期間合計額	約 2,520万円	
				平成10年～19年1月までの臭気対策合計額		約1億9,690万円

対策・試験・研究履歴④

平成19年2月～20年3月まで

P. 7

時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
256	19年2月		中部エコテック社製の縦型コンポを視察	八戸市	北栄農産、ウイング社の2農場を視察	
257	19年2月		仙南保健所に基準値超過についての改善計画書を提出	第一農場		
258	19年2月		町・県との臭気対策会議に出席	町役場庁舎	県、家畜保健衛生所・普及S。町、関係各課にて協議	
259	19年2月		発酵プラントの天窓及び側面開口部の密閉度強化工事	第一農場	農業用ビニールシートで天窓開口部を閉鎖	約95万円
260	19年2月		F118スクラバー方式による脱臭の調査・検討に着手		ファイン2よりの提案	
261	19年2月		塩化第一鉄関係資材のテストを行なう(株)コストム	第一農場	生糞に混合しての、無臭化テスト	
262	19年2月		発酵米ぬか混合飼料の紹介を受ける		仙台市のジェイ美食より	
263	19年3月		仙南保健所に改善策実施報告書を提出	第一農場		
264	19年3月		F118スクラバー方式による脱臭試験の打合せ		(株)ファイン2 渡辺専務に来社して貰う	
265	19年3月		光合成細菌、耐熱性バチルス菌液の紹介を受ける		GPF河島本部長より	
266	19年3月		中部エコテック社製の縦型コンポS-60を導入	第三農場	第一農場発酵プラントの負荷軽減を図る	約15万円/月
267	19年3月	～19年9月	縦型コンポの水によるバブリング脱臭を試験	第三農場		
268	19年3月		多重酵素資材バイオウィッシュの紹介を受ける		コウブ販売	
269	19年4月		乳酸菌・酵母複合発酵菌剤ラクトヒロックスの紹介を受ける			
270	19年4月		縦型コンポのバブリング脱臭のプロアーを強化	第三農場		
271	19年4月		船井総研の紹介で混合生葉発酵抽出資材の紹介が入る			
272	19年4月		浄化槽RO膜用2段目高圧ポンプのOHメンテナンスを行なう	第一農場		約22万円
273	19年4月		九宝物産BSK菌の紹介を受ける			
274	19年4月		FFC還元水の紹介を受ける			
275	19年5月		縦型コンポのバブリング脱臭のプロアーを2台に強化	第三農場		
276	19年5月		F118スクラバー方式による脱臭試験の打合せ		(株)ファイン2 渡辺専務他に来社して貰う	
277	19年5月		発酵槽F118消臭用コンプレッサーのOHメンテナンスを行なう	第一農場		約15万円
278	19年5月		県廃棄物対策課と仙南保健所で来場	第一農場	多量廃棄物排出事業所に関わる調査	
279	19年5月		楽農工房(有用微生物・酵素での活性水)視察打合せ		(株)木戸、京葉プラントエンジニアリング(株)	
280	19年5月		セラミック触媒活性水装置スパルターLの紹介を受ける			
281	19年6月		韓国農業省より山形大学の案内で視察に来る		環境対策についての視察	
282	19年6月		F118によるスクラバー方式による脱臭実証テストを行なう	第三農場	(株)ファイン2 渡辺専務ほかに立会いして貰う	
283	19年6月		東北畜研グループの勉強会でヒルズの環境対策等を視察			
284	19年6月		植物抽出物混合発酵液F-6868溶液(丸昌)の紹介を受ける			
285	19年6月		群馬県赤城南面地域4農場の臭気対策について視察する		楽農工房導入農場を視察	
286	19年7月		仙南保健所へ廃棄物処理計画書を提出		多量廃棄物排出事業所に関わる届出(畜産で県内初)	
287	19年7月		新潟県五泉市より視察に訪れる	第一農場	環境対策についての視察	
288	19年7月		宮城県実践大学より視察に訪れる	第一農場		
289	19年7月		船井総研紹介の(株)オキ(広島県)アルム事業部が来社			
290	19年7月		養豚情報誌ビッグジャーナルの環境対策の取材を受ける	第一農場	環境対策の事例紹介	
291	19年7月		東北畜研グループの勉強会で(有)みずの新農場を視察	登米市米山		
292	19年8月		釜石電気製作所の光触媒消臭抗菌装置の紹介を受ける			
293	19年8月		白石市役所農林課へ環境対策についての資料を提出			
294	19年8月		仙南保健所・大河原町役場より来場	町内農場		
295	19年8月		宮城県栗原農業士会より視察に訪れる			
296	19年8月		畜産環境技術研究所(白河)よりモニタリング調査に来場	第三・五農場	研究所の研究材料として協力	
297	19年8月		仙南保健所より臭気測定調査に来場	第五農場	仙南保健所と宮城県保健環境センターで採取	
298	19年8月		亜炭(フミン酸)資材フミライトの紹介を受ける			
299	19年8月		(株)オキ社 植物抽出発酵液の投与試験について打合せ			
300	19年8月		第一農場浄化処理施設の放流水の成分分析を行なう	第一農場		

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
301	19年9月			金ヶ瀬青木の(株)バイオ技研より鶏糞発酵試験の悪臭発生の通知あり			
302	19年9月		第三農場	第三農場にて肥育豚舎1棟火災にて全焼			
303	19年9月			畜産環境技術研究所よりバブリング脱臭水の分析結果届く			
304	19年9月		登米市迫町	東北畜研グループの勉強会で(有)門脇畜産を視察			
305	19年9月		第五農場	仙南保健所から臭気測定調査の結果通知が届く			
306	19年10月		第五農場	保健所に第五農場基準値超過についての報告書を提出			
307	19年10月	～ 20年1月	第三農場	縦型コンポの活性汚泥水によるバブリング脱臭を試験			
308	19年10月			仙南保健所に今後の対応について相談			
309	19年10月			バイオエアークリーニングを利用した脱臭法の紹介を受ける			
310	19年10月			光触媒を利用した脱臭法の紹介を受ける			
311	19年10月	～ 19年12月	第二農場	(株)オキ 植物抽出発酵液の投与試験を行なう			
312	19年10月			白石市より公害防止協定についての相談に訪れる			
313	19年10月		第五農場	再度、仙南保健所に基準値超過についての報告書を提出			
314	19年10月		仙台市	県指導農業士懇談会に出席する			
315	19年11月		第五農場	三住地区自治会より役員の方々懇談及び農場確認に来場			
316	19年11月		県自民本部	自民党県農政懇談会に畜産代表として出席			
317	19年11月		第一農場	第一農場に仙南保健所より臭気測定調査に来場			
318	19年11月		第五農場	仙南保健所へ第五農場臭気対策改善報告書を提出			
319	19年11月		つくば市	畜草研での悪臭防除の新技术等の研究会に2日間出席			
320	19年11月		第五農場	第五農場に改善後の臭気測定調査に保健所等で訪れる			
321	19年11月		第一農場	第一農場の臭気測定調査の結果通知が届いた			
322	19年11月		第五農場	第五農場へ仙南保健所獣疫班より訪れる			
323	19年11月			第一・第五農場の浄化槽改善について検討会議を開催			
324	19年11月			第三農場縦型コンポの第五農場への移設を検討			
325	19年12月		第一農場	発酵プラントのエアレーション配管の点検・清掃メンテナンスを行う			
326	19年12月		第一農場	美里町より視察に訪れる			
327	19年12月		福島県	JA仙南養豚部会の研修会に参加			
328	19年12月		群馬県	群馬県赤城山南面地帯の臭気状況視察			
329	19年12月	～ 20年3月	第三農場	(株)オキ 植物抽出発酵液の投与試験を農場を変えて行なう			
330	19年12月		群馬県	群馬県畜産試験場へ生物脱臭法の視察・相談に訪問する			
331	19年12月		第一農場	早稲田大学より視察に訪れる			
332	19年12月		茨城県	木戸(株)の案内で東京養豚(800頭一貫農場)を視察			
333	19年12月			(株)オキと試験結果について協議を行なう			
334	19年12月		第一・三農場	オゾン消臭関係の改造メンテナンスを行なう		約60万円	
335	20年1月	～ 20年2月	第五農場	中部エコテックによる縦型コンポの元臭調査を行なう			
336	20年1月			群立機器・中部エコテックと縦型コンポの生物脱臭を協議			
337	20年1月			ロックウール生物脱臭について明朋工業・環境テクノスと協議			
338	20年1月		猪苗代町	中部エコテックの案内で猪苗代町堆肥センターを視察			
339	20年1月		岩出山	宮城県養豚研究会の研究集会に出席			
340	20年1月			(株)エヌピーシーのBC消臭菌の紹介を受ける			
341	20年1月			豊田通商(株)より堆肥化促進・減臭用資材の紹介あり			
342	20年1月	～ 20年2月	第一農場	醗酵プラントの送風フローの運転時間短縮の試験を行なう			

対策・試験・研究履歴⑤

平成20年3月～22年3月まで

P. 10

	時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
361	20年3月		町・県との臭気対策会議に出席		町役場庁舎		保健所・家畜保健所・普及S。町関係各課にて協議				
362	20年3月		蔵王山麓四地区、県、市、等による公害防止協定を締結		白石市役所		自治会、行政、畜産事業者等14者による調印				
363	20年3月		全農場へ仙南保健所獣疫班より訪れる		全農場		へい獣処理についての現地改善確認				
364	20年3月	～ 20年4月	豊田通商の堆肥化促進・減臭資材の試験を別レーンに変更		第一農場		4～5レーンに変更して試験継続				
365	20年3月		町長知人の矢萩氏よりソイルケアの紹介を受ける								
366	20年3月		HRD社のダイポール・ビッグポールの紹介を受ける				HEC芦立氏よりの紹介				
367	20年4月		弱酸性次亜塩素酸水ステリ・PROの詳しい説明を受ける				(株)イシイ				
368	20年4月		町議の紹介でオオタミネラルの説明を受ける				オオタミネラル研究所				
369	20年4月		重合燐灰石利用のスーパーマルチソードの説明を受ける				イライトジャパン(株)				
370	20年4月		大河原町産業建設常任委員の方々から農場視察に来場する		第三・五農場						
371	20年4月		脱臭を兼ねたボイラーその他の打合せ				エコクリーンテクノロジー(株)				
372	20年4月		ナガノバイオ、岩間氏による木酢液の試験を開始		第三農場		オゾン水を木酢希釈液に替えて散布試験				
373	20年4月		天然ミネラル飼料ミネグレットの紹介を受ける				広栄(株)				
374	20年4月	～ 20年7月	豊田通商の堆肥化促進・減臭資材の試験を全レーンに変更		第一農場		1～5の全レーンを対象に試験継続			約75万円	
375	20年5月		HRD社のダイポール・ビッグポールの詳しい説明を受ける								
376	20年5月		豊田通商の堆肥化促進・減臭資材試験の計測を行う		第一農場		豊田通商・メニコンより来社にて実施				
377	20年6月		ドミノアグリ(ドミノソース)の紹介を受ける				大都工業(株)より				
378	20年6月		家畜保健所・大河原町による巡回あり		第一農場						
379	20年6月		家畜保健所・白石市による巡回あり		第五農場						
380	20年6月		大河原町西地区民生委員の視察受け入れ		第一・三農場						
381	20年6月		船迫中学校から体験学習の受け入れ		第一農場						
382	20年6月		十和田市の川村養豚を視察		青森県		中部エコテックの紹介でEM関係の視察				
383	20年6月		豊田通商の堆肥化促進・減臭試験の途中確認		第一農場						
384	20年6月		第五農場の臭気測定調査が保健所等で行われる		第五農場		仙南保健所と宮城県保健環境センターで採取				
385	20年6月		宮城県農業実践大学より視察受け入れ		第一農場						
386	20年7月		中国より畜産環境対策についての視察受け入れ		第一農場						
387	20年7月		群立機器(株)と群馬畜試式軽石生物脱臭方式の検討する								
388	20年7月		中部エコテックとスクラパー脱臭方式の検討								
389	20年7月		EM東北と第五農場脱臭槽改善についての協議								
390	20年7月		宮城県養豚研究会の研究集会に参加		大崎市						
391	20年7月		豊田通商と発酵槽臭気改善試験の現状確認		第一農場		豊田通商・メニコンより来社にて実施				
392	20年7月		宮城県養豚経営者会議の勉強会に参加		仙台市						
393	20年7月		(株)サフレアより(臭気対策専門メーカー)カルモアの紹介を受ける								
394	20年8月		長井市堆肥センターの状況視察		山形県長井市		土壌脱臭等の成果調査				
395	20年8月		柴田農林高等学校より体験学習の生徒受け入れ								
396	20年8月		湯沢市堆肥センターの脱臭方法を視察		秋田県		群立機器の案内で水洗と白金触媒利用の脱臭方式				
397	20年8月		協和化工のスクラパー脱臭の紹介を受ける				中部エコテックの紹介による				
398	20年8月		カルモア・サフレアに第五・第三・第一農場の施設確認に来場				カルモア村岡社長含む6名来場				
399	20年8月		HRD社の試験装置を設置、テストを開始				アグリ部の水道配管に試験取り付け				
400	20年8月		イワタケンポーロよりイオン封鎖剤系の消臭剤の紹介を受ける				大創KET研究所のQuick2				
401	20年8月		フルタ電気の細霧ファンの紹介を受ける				(株)菊重の紹介でエアクール				
402	20年8月		テラダ技研の細霧ファンの調査・検討を行う								
403	20年8月		第一農場の臭気測定調査が保健所等で行われる		第一農場		仙南保健所と宮城県保健環境センターで採取				
404	20年8月		クボタ・丸山製作所より細霧装置の紹介を受ける								
405	20年9月		金ヶ瀬中学校より体験学習の生徒受け入れ		第一農場						

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
406	20年9月			フルタ電気の細霧ファンのデモテストを行う	第三農場	細霧の状況や到達距離等を検証	
407	20年9月	～ 21年7月		大創KET研究所のQuick2とKE-SP1000の散布試験実施	第一・三農場	発酵プラント、第三全豚舎にて実施	約200万円
408	20年9月			大河原中学校より体験学習の生徒受け入れ			
409	20年9月			カルモア本社へコンサルサービス契約について訪問	東京都		
410	20年9月			東北大学農学部より視察受け入れ			
411	20年9月			第五農場地元自治会役員と意見交換を行う			
412	20年9月			苦情者及び行政各所の第五農場見学の受け入れ	第五農場		
413	20年9月			苦情者及び行政各所との臭気問題検討会議に出席	白石市役所		
414	20年10月			宮城県養豚経営者会議の勉強会で日野養豚を視察	登米市		
415	20年10月			第五農場臭気対策改善について関係役所と協議			
416	20年10月			第五農場臭気対策改善期限の延長願を役所に提出			
417	20年10月			(株)カメイ商事よりフタロシアニンによる消臭の紹介を受ける			
418	20年11月			新コスモス電機(株)の臭気測定器(臭気指数他)1号機を購入		畜環研式畜産向けの臭気センサー・ソフト内蔵	約32万円
419	20年11月			茨城県の東京養豚へ3度目の現地確認に訪問する	茨城県	楽農工房(導入10ヶ月目の状況)を視察	
420	20年11月			臭気対策コンサルサービスの契約をカルモア等と締結			
421	20年11月			カルモアによる臭気の原因・箇所及び周辺影響調査を実施		10/10～10/16までの7日間	調査・分析・提案費 約350万円
422	20年11月			HRD社の試験装置を撤去、断念する		効果全然現れず	
423	20年11月			町・県との臭気対策会議に出席	町役場庁舎	保健所・家畜保健所・町関係各課にて協議	
424	20年12月			日本建設機械商事の発酵改善助剤の紹介を受ける		菅野設計よりの紹介	
425	20年12月			ファイン2山田氏と臭気対策について協議			
426	20年12月			カルモアによるCMWのデモテストを行う	第三農場		約20万円
427	20年12月			カルモアより臭気調査の結果報告を受ける			
428	21年1月			カルモアと臭気調査結果を踏まえての協議			
429	21年1月			CMWに関し、和田工業と新井戸ポーリングの協議		CMWには大量の水が必要な為	
430	21年1月			カルモアによるスクラバー脱臭のデモテストを実施(5日間)	第一農場	温泉排水、逆浸透水、硫酸、フタロシアニン等の試験	約130万円
431	21年1月			宮城県養豚研究会の研究セミナーに参加	大崎市		
432	21年2月			CMWに関し、ワークステーションと新井戸ポーリングの協議		CMWには大量の水が必要な為	
433	21年2月			関係各役所に臭気調査結果を報告			
434	21年2月			CMWに関し、北日本ポーリングと新井戸についての協議		CMWには大量の水が必要な為	
435	21年2月			中部エコテックよりスクラバーメーカー等の紹介を受ける		協和化工(株)スクラバー	
436	21年2月			日本建設機械商事と発酵改善助剤の試験打ち合わせ			
437	21年2月			ハニカムフィルター脱臭方式について説明を受ける		ヨシモトポール	
438	21年2月			カルモアよりスクラバー脱臭デモテストの結果報告			
439	21年3月			第五農場臭気対策改善計画書を県・市に提出			
440	21年3月			日本建設機械商事の発酵改善助剤添加試験の測定実施	第五農場		
441	21年3月			第五農場周辺の水源探査調査を行う	白石市	(株)北日本ポーリングによる放射能探査調査	約30万円
442	21年3月			第五農場周辺苦情者との説明会に出席	白石市		
443	21年3月			三住地区自治会の役員会にて説明を行う	白石市		
444	21年3月			二度目の第五農場周辺の水源探査調査を行う	白石市	(株)北日本ポーリングによる放射能探査調査	
445	21年3月			町・県との臭気対策会議に出席	町役場庁舎	保健所・家畜保健所・町関係各課にて協議	
446	21年3月			北日本ポーリングによる水源探査調査の結果報告を受ける		農場内に水脈有りの可能性有りの報告	
447	21年3月			ファイン2と臭気対策について協議を行う			
448	21年4月			北日本ポーリングによる第五新井戸ポーリング工事を着工	第五農場		約525万円
449	21年4月			中国工業よりBM消臭法について説明を聞く			
450	21年4月			協和化工(株)スクラバー脱臭装置について協議			
451	21年4月			カルモア・サフレアとCMWシステムについての打ち合わせ			

	時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
452	21年5月			第五農場の新井戸掘削工事完了	第五農場		毎分100L以上の水量を確保				
453	21年5月			日本建設機械商社の発酵改善助剤試験の結果報告を受ける			特に効果は表れなかった				
454	21年6月			家畜保健所による巡回指導あり	第三・五農場						
455	21年6月			カルモア・サフレアとCMW導入について最終協議							
456	21年6月			JAあさひな堆肥センターを視察	大和町		環境営繕部と4名で視察				
457	21年6月			栃木FSの農場及び堆肥処理場を視察	栃木県						
458	21年6月			船迫中学校から体験学習の受け入れ	第一農場						
459	21年6月			CMWシステムに向けての給水・電気等の付帯工事を着工	第三・五農場						約300万円
460	21年6月			CMWシステム装置の設置導入	第五農場			約40万円/月	約500万円/年		500万円
461	21年6月			CMWシステム装置の設置導入	第三農場			約40万円/月	約500万円/年		500万円
462	21年6月			第五農場周囲植樹について蔵王苗圃と協議							
463	21年6月			第五農場CMWシステム稼働開始	第五農場						
464	21年6月			第三農場CMWシステム稼働開始	第三農場						
465	21年7月			第五農場の周囲にヒバの木の植樹を行う	第五農場		約700本を植樹			約50万円	
466	21年7月			IPPS名古屋畜産展を訪問	愛知県						
467	21年7月			長野県より環境対策について視察に訪れる			環境対策についての視察				
468	21年7月			白石市苦情者及び行政各所との臭気対策検討会議に出席	白石市						
469	21年7月			第五農場脱臭槽の交換用チップ搬入開始	第五農場		全40m3×5台				
470	21年7月			宮城県養豚研究会の研究集会に参加	岩出山						
471	21年7月			いわでやま資源循環センター(ジャパンサイクル株)を視察	岩出山						
472	21年8月			第五農場脱臭槽の濾材チップ交換の実施	第五農場					約33万円	
473	21年8月			中部エコテックとスクラバー脱臭等の協議							
474	21年8月			七十七リースより株ECOの炭化装置について紹介を受ける							
475	21年9月			フジ化成より細霧式消臭システムの紹介を受ける							
476	21年9月			株ECOの炭化装置の視察とデモテストに立ち会う	仙台市						
477	21年9月			動薬メーカーよりマスク型消臭剤の紹介を受ける	第一農場		ワイピーテック社の芳香剤プリンタリーズの試験実施				
478	21年9月			宮城県公衆衛生協会に臭気指数調査を依頼し分析する	第五農場		カルモアによる同時分析も実施			約25万円	
479	21年9月			金ヶ瀬中学校より体験学習の生徒受け入れ	第一農場						
480	21年9月			第三農場の集糞所の密閉化を検討	第三農場						
481	21年9月			大河原中学校より体験学習の生徒受け入れ	第一農場						
482	21年9月			株ECOの炭化装置の検討会議を行う							
483	21年9月			マザーグースより臭気対策資材の紹介をうける							
484	21年9月			東北大学農学部より視察受け入れ							
485	21年9月			第一農場の臭気測定調査が保健所等で行われる	第一農場		仙南保健所と宮城県保健環境センターで採取				
486	21年9月			第五農場臭気対策改善の報告書を提出			仙南保健所、大河原家畜保健所、白石市宛てに提出				
487	21年9月			カルモアと第一農場発酵プラント臭気対策について協議							
488	21年10月			農場内外での臭気測定を市・県・苦情者立ち会いで実施	第五農場		午前～午後にかけての実施				
489	21年10月			第三農場の集糞所の密閉化を実施	第三農場						
490	21年10月			農場内外での臭気測定結果の報告を受ける			場内で基準値以下で、場外で基準値超の意外な結果				
491	21年10月			第一農場発酵プラントの被覆材補修を行う	第一農場					約20万円	
492	21年10月			仙南保健所、県本庁・市より現地確認調査に来場	第五農場						
493	21年10月			AVPSつくば大会の勉強会に出席	つくば市		アジア養豚学会				
494	21年11月			仙南保健所へ報告書提出							
495	21年11月			船岡中学校より体験学習の生徒受け入れ	第一農場						
496	21年11月			宮城県公衆衛生協会に臭気指数調査を依頼し分析する	第五農場		自主測定検査を実施			約25万円	
497	21年11月			ドミノアグリ(ドミノソース)の試験について協議			大都工業株より				
498	21年11月			仙南保健所と改善対策について協議							

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
499	21年11月	ドミノソースの消臭試験を開始	第一農場				
500	21年12月	仙南保健所より現地確認に訪れる	第五農場				
501	21年12月	仙南保健所と改善対策について協議					
502	21年12月	JA養豚部会の研修会に参加					
503	21年12月	県による農場内外の臭気濃度調査が行われる	第五農場				
504	21年12月	カルモア新社長他5名と打ち合わせ		第五・第一農場の改善対策について協議			
505	21年12月	仙南養豚協会の臭気対策研修会に出席	白石市	畜産草地研究所の代永道裕 先生による勉強会			
506	21年12月	新潟県畜産課より情報交換に訪れる		環境対策についての協議			
507	21年12月	仙南保健所と改善対策について協議					
508	21年12月	公衆衛生協会による臭気測定調査予定が、悪天候の為延期					
509	21年12月	町議会議員の紹介で山内東平東京農大教授に相談する					
510	21年12月	仙南保健所に第五農場改善対策計画書案を提出					
511	22年1月	仙南保健所に第五農場改善対策計画書案を提出(再提出)					
512	22年1月	宮城県養豚研究会の研究集会に出席					
513	22年1月	防臭用ネット関係の視察を実施	大崎・登米市	施設園芸等			
514	22年2月	エヌエス環境㈱によるガスクロ分析調査の採材を行う	第一農場	発酵プラント内部に於ける物質濃度の測定		約30万円	
515	22年2月	宮城県養豚経営者会議の県畜産課との懇談会に出席	仙台市	畜産環境アドバイザーによる援助要請を訴える			
516	22年2月	におい・かおり環境協会主催の臭気対策セミナーに参加	東京都	畜産関係臭気対策のセミナー			
517	22年2月	県地方振興事務所主催の畜産講演会に出席	蔵王町				
518	22年2月	畜産環境技術研究所によるモニタリング調査に協力	第五農場	畜環研の山本先生、大久保義人委員による調査			
519	22年2月	大久保義人委員による臭気対策のアドバイスを受ける					
520	22年2月	仙南保健所に第五農場改善対策計画書案を提出(変更案)					
521	22年2月	畜産環境技術研究所モニタリング調査のテラパック臭気採取	第五農場	モニタリング調査協力			
522	22年2月	宮城県畜産環境アドバイザーとの打ち合わせに出席	大河原合庁	県職の畜産環境アドバイザーとの会合			
523	22年2月	防臭用ネット関係の視察して廻る	亘理・蔵王	ハウス栽培施設、果樹団地			
524	22年3月	仙台農建と防臭用ネットフェンスについて打合せ					
525	22年3月	宮城県畜産環境アドバイザーによる現地確認	第五農場				
526	22年3月	第五農場で豚舎床面の清掃回数増加対策を開始	第五農場				
527	22年3月	第五農場で豚舎スクレーパー除糞回数増加対策を開始	第五農場				
528	22年3月	第五農場で導入豚の寝床躰け対策を開始	第五農場				
529	22年3月	第五農場でCMW水洗回数増加対策を開始	第五農場				
530	22年3月	第五農場の集糞所開口部に遮断用シート設置対策完了	第五農場			約30万円	
531	22年3月	仙南保健所に第五農場改善対策計画書(最終案)を提出					
532	22年3月	アースクリーンネットワークより臭気対策について紹介あり		エレンシステム(電子機能水?)			
533	22年3月	三陸情報企画より消脱臭資材の紹介あり					
534	22年3月	防臭用ネット関係の視察を実施	福島県	果樹・園芸施設			
535	22年3月	消臭資材メーカーのサナと打合せを行う					
536	22年3月	ヨシモトポールと脱臭について協議を行う		ハニカムフィルター脱臭について協議			
537	22年3月	フルタ電気と脱臭用細霧ファンについて相談打合せ					
538	22年3月	協和エムザーより消臭対策について情報を受ける					
539	22年3月	(株)サナの消臭剤のデモテストを実施	第五農場	消臭剤の豚舎内散布テストを行う			
540	22年3月	仙南保健所による第五農場立入り調査が行われる	第五農場				
541	22年3月	テラダ技研と脱臭用細霧ファンについて打合せを行う					
542	22年3月	町・県との臭気対策会議に出席	町役場庁舎	保健所・家畜保健所・町関係各課にて協議			
543	22年3月	仙南保健所に第五農場改善対策計画の進捗状況を報告					
544	22年3月	(株)ECOと脱臭について検討会議を行う		炭化装置とその炭化物活用脱臭について検討			
合 計				(F118消臭剤及びコンプレッサー動力費含む)	期間合計額	約 3, 175万円	約 2, 565万円
					平成10年～20年2月までの臭気対策合計額		約3億2, 430万円

対策・試験・研究履歴⑥

平成22年4月～23年12月まで

P. 14

	時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
545	22年4月		仙台農建と防臭用ネットフェンスについて現場打合せ		第五農場						
546	22年4月		テラダ技研の360°首ふり細霧ファンを試験用に1台設置		第五農場			消臭剤細霧消臭の試験開始(5-2豚舎に設置)			
547	22年4月		CMWの効果確認試験を実施		第五農場			CMWによる水洗の前後の臭気測定			
548	22年4月		CMWの水洗・細霧の効果確認試験を実施		第五農場			CMWによる水洗と細霧を併用した場合の臭気測定			
549	22年4月		CMWの水洗+マイクロゲル細霧の効果確認試験を実施		第五農場			CMW水洗とマイクロゲル細霧を併用した場合の臭気測定		約15万円	
550	22年4月		CMWの水洗+マイクロゲル細霧の効果確認試験を実施		第五農場			マイクロゲル細霧の濃度・噴霧時間を変更しての臭気測定			
551	22年4月		(株)ECOと東北大学中井先生の企画に付き打合せ								
552	22年4月		仙台農建の防臭用ネットフェンス試験確認用(西側)着工		第五農場			ネットフェンス効果確認用の為、西側境界に設置			
553	22年4月		仙南保健所に第五農場改善対策進捗状況報告を提出								
554	22年4月		畜産環境技術研究所モニタリング調査のテラパック臭気採取・送付		第五農場						
555	22年4月		仙南保健所に第一農場改善対策についての報告書を提出								
556	22年4月		ヨシモトポールとハニカムフィルター脱臭について協議								
557	22年4月		三陸情報企画よりグルンバシステムの紹介を受ける					乳酸菌大量培養システム			
558	22年5月		白石市苦情者及び行政各所との臭気対策検討会議に出席		白石市						
559	22年5月		仙南保健所に第五農場改善対策進捗状況報告を提出								
560	22年5月		CMW:ノンシューエース水洗の効果比較試験を実施		第五農場			其々の水洗後の臭気測定			
561	22年5月		CMWの水洗:ノンシューエース細霧の効果比較試験を実施		第五農場			其々の臭気測定比較			
562	22年5月		マザーゲースより消臭資材の紹介を受ける								
563	22年5月		アースクリーンより消臭資材の紹介を受ける					エレンシステムの紹介			
564	22年5月		(株)シーエステクノより消臭資材の紹介を受ける					セラミック活性水の紹介			
565	22年5月		仙台農建による防臭用ネットフェンス試験確認用(西側)完成		第五農場						約100万円
566	22年5月	～	防臭用ネットフェンスの内側:外側での測定試験を実施		第五農場			フェンスの内外的臭気濃度測定比較調査			
567	22年5月		中島製作所より、グルンバシステムの情報を頂く								
568	22年5月	～ 22年6月	低CP飼料の給与試験を実施		第五農場			低CP飼料区:通常飼料区の臭気測定比較試験			
569	22年5月		県環境対策課より現地視察に来場		第五農場						
570	22年5月		CMW:ドミノソース水洗の効果比較試験を実施		第五農場			其々の水洗後の臭気測定			
571	22年6月		CMWの水洗:ドミノソース細霧の効果比較試験を実施		第五農場			其々の臭気測定比較			
572	22年6月		スターライズより消臭資材の紹介を受ける					プロトンウォーターの紹介			
573	22年6月		サンケイソイルより消臭資材の紹介を受ける								
574	22年6月		サコダバイオ研究所より消臭資材の紹介を受ける					強化納豆菌による臭気削減			
575	22年6月		カッセー東北(株)より堆肥化工法の紹介を受ける								
576	22年6月		農水省と東北農政局より視察に来訪される		本社事務所						
577	22年6月		東北大学より農場視察に来訪		第一農場						
578	22年6月		CMW:バイオリキッド水洗の効果比較試験を実施		第五農場			其々の水洗後の臭気測定			
579	22年6月		CMWの水洗:バイオリキッド細霧の効果比較試験を実施		第五農場			其々の臭気測定比較		約20万円	
580	22年6月		白石市苦情者及び行政各所との臭気対策検討会議に出席		白石市						
581	22年7月		仙台農建と防臭用ネットフェンスの増設工事について検討		第五農場			南・北・東の各面の増設について			
582	22年7月		町役場町民生活課より来訪を受ける		本社事務所			町民アンケートの結果について協議			
583	22年7月		フォレストよりEM菌の新資材HDMの紹介を受ける								
584	22年7月		社内幹部による臭気対策会議を行う		本社						
585	22年7月		宮城県養豚経営者会議のセミナーに出席								
586	22年7月		ハニカムフィルター脱臭方式導入農場より紹介を受ける					宮城県養豚経営者会議のセミナー出席同業者より			
587	22年7月		ハニカムフィルター脱臭の現地視察をする		田尻町			発酵処理施設の脱臭			

	時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
588	22年7月			フォレストによるEM菌の新資材の散布テストを行う	第五農場		EMSSによる水洗の前と後の臭気測定比較試験				
589	22年7月			CMW:EMSS水洗の効果比較試験を実施	第五農場		CMW水洗とEMSS水洗した場合の臭気測定比較				
590	22年7月			CMWの水洗:EMSS細霧の効果比較試験を実施	第五農場		CMW水洗とEMSS細霧した場合の臭気測定比較				
591	22年7月			仙台農建と防臭用ネットフェンスの増設工事について打合せ							
592	22年7月			七十七銀行による糞尿処理勉強会に出席	登米市						
593	22年7月			大地物産の堆肥化処理時臭気発生低減資材の紹介を受ける			菅野設計成田氏より				
594	22年7月			ヨシモトポールとハニカムフィルター脱臭について協議							
595	22年7月			(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭について協議							
596	22年7月			仙南保健所に第五農場改善対策進捗状況報告を提出							
597	22年7月	～ 22年10月		大地物産の堆肥化処理時臭気発生低減資材の試験を行う	第二農場		飼料添加試験、豚舎内散布試験				
598	22年8月			宮城県公衆衛生協会に依頼し、臭気指数測定調査を実施	第五農場		自主測定調査の実施			約25万円	
599	22年8月			ハニカムフィルター脱臭導入に向けての資金について検討			強い農業づくり交付金事業の検討				
600	22年8月			浄化槽活性水の豚舎内散布試験を実施	第五農場						
601	22年8月			フォレストによるEM新資材の散布テスト結果の協議を行う							
602	22年8月			仙台農建と防臭用ネットフェンスの増設工事について協議							
603	22年8月			防臭用ネットフェンス設置に関わる電柱の移転工事を行う	第五農場		東北電力				
604	22年8月			ハニカムフィルター脱臭の導入施設を視察する	山形県東根市		肥育牛農場				
605	22年8月			宮城県養豚経営者会議・東北畜研合同セミナーに参加			大竹聡氏の講演				
606	22年8月			(株)ECOと脱臭について協議							
607	22年8月			仙台農建の防臭用ネットフェンス追加設置分に着工	第五農場		臭気流出防止用ネットフェンスの設置				
608	22年8月			フォレストによるEM菌の新資材の希釈液噴霧テストを行う	第五農場						
609	22年8月			(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭について設計打合せ							
610	22年8月			宮城県農業士会、東北・北海道研究集会に参加	松島町						
611	22年8月			(株)ECOと炭化物利用の脱臭について協議							
612	22年8月			菅野設計より消臭資材業者大地物産の紹介を受ける							
613	22年8月			EM菌の新資材の希釈液噴霧テスト結果の考察を行う							
614	22年8月			テラダ技研の脱臭用細霧ファン第五全豚舎に設置工事	第五農場						約600万円
615	22年9月			仙台農建のネットフェンス設置工事完了	第五農場						約350万円
616	22年9月			テラダ技研の脱臭用細霧ファンの本格運転開始	第五農場						
617	22年9月			イワタケホールより排気ファン出口用の消臭提案を受ける							
618	22年9月			県農林水産業士会の一次産業交流会に参加	東松島市		カキがら利用の脱臭を漁業士会員と検討協議				
619	22年9月			(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭について設計協議							
620	22年9月			ヨシモトポール(株)とハニカムフィルター脱臭について設計協議							
621	22年9月			町立大河原中学校より体験学習の生徒受入	第一農場						
622	22年9月			白石市苦情者及び行政各所との臭気対策検討会議に出席	白石市						
623	22年9月			フォレスト南雲氏と消臭噴霧テストにつき協議							
624	22年9月			第五農場脱臭槽、濾材交換用チップ搬入開始	第五農場						
625	22年9月			第一物産(株)より脱臭剤「エアークム」の紹介を受ける			天然系臭気中和脱臭剤				
626	22年9月			宮城県公衆衛生協会による、臭気指数測定調査を実施	第五農場		自主測定調査の実施			約28万円	
627	22年10月			(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭についての打合せ							
628	22年10月			ヨシモトポール(株)とハニカムフィルター脱臭についての打合せ							
629	22年10月			東北大学へコンポストのサンプル提供			大学での研究に協力				
630	22年10月			脱臭システム導入に向けての国補事業ヒヤリングに出席	宮城県庁						
631	22年10月			宮城県養豚研究会の研究集会に参加	色麻町						

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
632	22年10月	東北畜研開催の砂川徹セミナーに参加	登米市				
633	22年10月	フォレストによる消臭資材の噴霧テストを行う	第五農場				
634	22年10月	第五農場脱臭槽、濾材チップの交換作業の実施	第五農場			約40万円	
635	22年10月	秋田県小坂町の堆肥処理センター周辺を視察	秋田県鹿角郡	周辺への影響度合い調査			
636	22年10月	(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭の第一農場導入契約締結		発酵処理施設への脱臭設備導入を決定			約1、500万円
637	22年10月	県環境センター・仙南保健所による臭気測定調査が実施	第五農場	夕方5時からの調査開始、			
638	22年10月	第一物産(株)の脱臭剤エアークムについて協議					
639	22年10月	東北畜研定例勉強会に出席	登米市				
640	22年10月	仙南保健所に第五農場改善対策進捗状況報告を提出					
641	22年10月	仙南保健所に第一農場改善対策計画書を提出					
642	22年10月	(株)ダイヤのハニカムフィルター脱臭システム設置工事開始	第一発酵プラント	発酵プラントへのエアークリーンフィルター脱臭装置			
643	22年11月	第五農場防臭用ネットフェンスが、暴風により損害を受ける	第五農場	主に南面の250m分			
644	22年11月	第五農場防臭用ネットフェンス破損部危険な為、一部解体	第五農場	南面の一部(約160m)分			
645	22年11月	仙台農建と第五農場ネットフェンス破損部復旧について協議					
646	22年11月	(株)ワールドエコプランニングより「マタタコロ」の紹介を受ける		安定化二酸化塩素系資材			
647	22年11月	トヨタ自動車バイオ・緑化事業部とメコンより新資材の紹介		発酵処理に於ける低級脂肪酸抑制資材の紹介			
648	22年11月 ~ 12月	トヨタ自動車バイオ・緑化事業部消臭資材の試験を実施	第一農場	第一農場発酵槽にて添加投入処理試験			
649	22年11月	エヌエス環境(株)と臭気指数・ガスクロマトフ分析の協議					
650	22年11月	仙台農建と防臭用ネットフェンスの復旧工事について協議					
651	22年11月	五十嵐商会より「ラクトヒロック」の紹介を受ける		(株)廣商の乳酸菌・酵母複合発酵菌剤			
652	22年11月	宮城県養豚経営者会議開催の県畜産課懇談会に参加	仙台市				
653	22年11月	新コスモス電機(株)の臭気測定器(臭気指数他)2号機を購入		畜環研畜産向けの臭気センサー・ソフト内蔵		約32万円	
654	22年12月	新コスモス電機(株)の臭気測定器1号機をオーバーホールする				約15万円	
655	22年12月	エヌエス環境による臭気指数・ガスクロ分析の測定調査を実施	第一三五農場	自主測定調査の実施		約36万円	
656	22年12月	仙南保健所に第一農場改善対策進捗状況報告を提出					
657	22年12月 ~ 23年2月	トヨタ自動車バイオ・緑化事業部消臭資材の試験を実施	第五農場	第五農場縦型コンポにて添加投入処理試験			
658	22年12月	エヌエス環境によるガスクロ分析の測定再調査を実施	第三農場	自主測定調査ガスクロ分析再調査の実施			
659	22年12月	(株)ダイヤのエアークリーンフィルター脱臭一部稼働開始	第一発酵プラント				
660	22年12月	(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭の第三農場導入に付協議					
661	23年1月	(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭の第三農場導入に付き設計協議					
662	23年1月	日本政策金融公庫に脱臭設備導入資金について相談					
663	23年1月	エヌエス環境(株)の臭気指数・ガスクロマトフ分析の結果受ける	第一三五農場	臭気指数は全6検体とも基準値以下の検査結果			
664	23年1月	テラダ技研、脱臭用細霧ファンの手直しに来場	第五農場				
665	23年1月	トヨタ自動車バイオ・緑化事業部へ分析用コンポストを送付	第一発酵槽	低級脂肪酸の気散量測定の為			
666	23年1月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第一発酵プラント	検知管による測定			
667	23年1月	仙南保健所に第一農場改善対策進捗状況報告を提出					
668	23年2月	管理獣医師とハニカムフィルター脱臭導入農場の現地視察を行う	群馬県沼田市	(株)ダイヤの案内で利根沼田ドリームファームを視察			
669	23年2月	管理獣医師とハニカムフィルター脱臭の第三農場導入に設計協議					
670	23年2月	(株)ダイヤとハニカムフィルター脱臭の第三農場空調設計協議					
671	23年2月	GPF吉川氏とハニカムフィルター脱臭の第三農場空調設計協議					
672	23年2月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第一発酵プラント	検知管による測定			
673	23年3月	宮城県農業公社とハニカムフィルター脱臭の導入手続きにつき協議					
674	23年3月	日環エンジニアリング(株)より消臭・除菌水の紹介を受ける		安定化塩素水関係			
675	23年3月	(株)廣商の乳酸菌・酵母複合発酵菌剤の試験の打合せ					

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
720	23年8月	第三農場ハニカムフィルター脱臭システム導入工事の工程会議開催	第三農場	4・5回目			
721	23年8月	(株)セイスイの機能性セラミックス装置の紹介を受ける		みやぎ産業新興機構よりの紹介			
722	23年8月	共立製薬(株)より新エポリオン(株)の消臭資材を紹介を受ける					
723	23年8月	日環エンジニアリング(株)と消臭・除菌水CELAの試験法の協議					
724	23年8月	利根沼田ドリームファームの夏場状況確認に訪問する	群馬県沼田市	夏場状況確認に農場周辺を巡回視察			
725	23年8月	農場全社員による環境対策に関する勉強会を開催	本社事務所				
726	23年8月	新田電材(株)の二酸化塩素系の消臭資材の試験につき打合せ					
727	23年9月	第三農場ハニカムフィルター脱臭システム導入工事の工程会議開催	第三農場	6・7回目			
728	23年9月	共立製薬(株)と新エポリオン(株)の消臭資材の試験につき協議					
729	23年9月	都築アメニティーによる消臭薬剤の消臭効果確認試験実施	第三農場	3社、5薬液、6種類の効果確認分析試験(デモ機)			
730	23年9月	第五脱臭槽濾材交換用の粉碎チップの搬入ストック開始	第五農場	40m3*5台 計200m3搬入			
731	23年10月	第五脱臭槽の濾材チップ交換作業を実施	第五農場			約40万円	
732	23年10月	都築アメニティーより消臭効果確認試験の結果報告を受ける					
733	23年10月	(株)廣商の乳酸菌・酵母複合剤の飼料添加試験結果を協議					
734	23年10月	第三農場ハニカムフィルター脱臭システム導入工事の完成検査の実施	第三農場	農業公社、県、町立ち会いにより実施される			付帯工事含 1億7,000万円
735	23年11月	第三農場エアークリーンフィルター脱臭システム試験稼働開始	第三農場	全離乳舎、全肥育舎に導入稼働			
736	23年11月	県環境センター・仙南保健所による臭気測定調査が実施される	第五農場	臭気指数分析は全4検体とも基準値以下の検査結果			
737	23年11月	都築アメニティーによる消臭剤実地噴霧試験を実施する	第三農場	3社、3薬液、5種類の効果分析試験(野外デモ機試験)			
738	23年11月	養豚国際フォーラムに社長と2名で出席する	東京都中野区	消脱臭関係メーカー等の展示ブース有り			
739	23年11月	消臭資材 ゼム酵素の紹介を受ける					
740	23年11月	第五農場豚ぶん圧送ポンプ故障	第五農場				
741	23年11月	極東開発工業と圧送ポンプ修理について協議					
742	23年11月	佐藤重機修理に圧送ポンプ修理について相談					
743	23年11月	第三農場エアークリーンフィルター脱臭システム取扱説明会	第三農場				
744	23年11月	農場全社員による環境対策の勉強会及び協議会を開催	本社事務所				
745	23年12月	第三農場エアークリーンフィルター脱臭システム稼働開始	第三農場				
746	23年12月	GPF(株) 23年第2回定例会セミナーに出席	高崎市				
747	23年12月	日環エンジニアリング(株)と消臭・除菌水生成装置セラの説明を聞く					
748	23年12月	新興商事(株)に圧送ポンプ修理について相談					
749	23年12月	県環境センター・仙南保健所による臭気測定調査が実施される	第一農場	臭気指数分析は全3検体とも基準値以下の検査結果			
750	23年12月	都築アメニティーより消臭剤実地噴霧試験の結果報告を受ける					
	22年4月 ~ 23年12月		第三・五農場	CMWシステム稼働費用(薬剤費その他)		約1,600万円	
					期間合計額	約 1,940万円	約 1億9,550万円
					平成10年~23年12月までの臭気対策合計額		約 5億3,920万円

対策・試験・研究履歴⑦

平成24年1月～25年2月まで

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
751	24年1月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第一発酵プラント	検知管による測定			
752	24年1月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第三離乳舎	臭気測定器による測定			
753	24年1月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第三肥育舎	臭気測定器による測定			
754	24年1月	仙南保健所より浄化処理施設放流水の水質検査に来場	第一浄化槽	水質異状なし			
755	24年1月	Mポーク新設豚舎脱臭システム視察	青森県八戸市	エアークリーンフィルターシステムの新設置法視察			
756	24年1月	東北農政局より来社		ヒルズの事業内容についての聴きとり			
757	24年1月	サナ東北と打合せ		汚水運搬時の臭気軽減対策について			
758	24年1月	東北畜研 研修セミナーに参加					
759	24年2月	県農業士会農政推進懇談会に出席	仙台市				
760	24年2月	におい・かおり環境協会 臭気対策セミナー(2日間)に出席	東京都	震災津波被災での魚介類腐敗臭対策試験等を受講			
761	24年2月	宮城県養豚研究会 研究集会に出席	大崎市古川				
762	24年2月	エヌエス環境(株)によるガスクロマトフ分析の測定調査を実施	第三農場	自主測定調査実施(ハニカムフィルター脱臭成果確認測定)		30万円	
763	24年2月	飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける	全農場				
764	24年2月	サナ東北と現地試験の打合せ					
765	24年2月	堆肥舎屋根の改修を実施	第一農場				230万円
766	24年2月	県農業担い手サミットに出席	松島町				
767	24年2月	宮城県養豚経営者会議総会に参加	松島町				
768	24年2月	農場部全体勉強会を開催	本社会議室				
769	24年2月	エヌエス環境(株)によるガスクロマトフ分析の測定結果が出る	第三農場	ハニカムフィルター脱臭の成果が除去率90%以上を確認			
770	24年3月	都築アメニティーと消臭・脱臭について提案を受ける					
771	24年3月	第五農場豚ぶん圧送ポンプを新品に交換、運転再開	第五農場	新興商事による導入			
772	24年3月	米沢市の大型養豚場の臭気状況を調査視察に訪問する	山形県米沢市				
773	24年4月	仙台農建と発酵プラントの屋根補修について打合せ					
774	24年4月	爆弾低気圧による暴風被害が全事業所の施設で発生	全農場	第五農場防臭用ネットフェンス、各場断熱カーテン等々			補修費約1、400万円
775	24年4月	第五農場豚ぶん新圧送ポンプに不調発生	第五農場				
776	24年4月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第一発酵プラント	検知管による測定			
777	24年4月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第三離乳舎	臭気測定器による測定			
778	24年4月	エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第三肥育舎	臭気測定器による測定			
779	24年4月	飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける	全農場				
780	24年4月	トーメック、極東開発と圧送ポンプについて打合せ					
781	24年5月	(株)ダイヤによる新設豚舎脱臭システム視察	秋田県大館市				
782	24年5月	家畜保健所と大河原町による大規模農場立入り調査有り	町内全農場				
783	24年5月	家畜保健所と白石市による大規模農場立入り調査有り	第五農場				
784	24年5月	米国養豚情勢視察研修に参加	米国	米国養豚の飼養管理、環境対策について視察研修			
785	24年5月	トーメック、極東開発による圧送ポンプ入れ替え設置	第五農場				360万円
786	24年5月	農場部全体勉強会を開催	本社会議室				
787	24年6月	微生物活性材CTCルールの紹介を受ける					
788	24年6月	名古屋養鶏養豚展・畜産セミナーに参加	名古屋市	養豚の飼養管理及び環境対策について研修・調査			
789	24年6月	県農業士会総会・研修会へ参加	仙台市				
790	24年6月	バイエル薬品、ベネット主催PIG SIGNALSセミナーに参加	東京都				
791	24年6月	農場全社員による環境対策の勉強会を開催	本社会議室				
792	24年6月	仙台農建と発酵プラントの屋根補修について最終打合せ	第一農場				
793	24年6月	大河原中学校体験学習の受け入れ	第一農場				

	時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
794	24年6月			飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける	全農場						
795	24年7月			CTCルオール試験を醗酵槽及び縦型コンポで開始	第一・五農場						
796	24年7月			宮城県養豚経営者会議のセミナーに出席	登米市		山下養豚塾長の講演				
797	24年7月			宮城県養豚研究会のセミナーに出席	大崎市古川						
798	24年7月			CTCルオール試験をアグリ合併浄化槽で開始	アグリ事業部						
799	24年7月			JA仙南養豚部会のセミナーに出席	角田市		大河原家畜保健衛生所による講習会				
800	24年7月			栃木県芳賀4HCより視察受け入れ							
801	24年7月			十一勉強会にて肥料関係について視察の受け入れ	第一農場		資源循環型農業の勉強会グループ				
802	24年7月			エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第一発酵プラント		検知管による測定				
803	24年7月			エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第三離乳舎		臭気測定器による測定				
804	24年7月			エアークリーンフィルター脱臭の脱臭効果確認測定を実施	第三肥育舎		臭気測定器による測定				
805	24年8月			宮城県農業大学校より視察受け入れ							
806	24年8月			東北畜研、GPFによる勉強会に参加	登米市						
807	24年8月			CTCルオール醗酵槽での試験を添加量5倍量に変更	第一農場						
808	24年8月			CTCルオール試験をチップ脱臭槽で実施	第五農場						
809	24年8月			3月訪問の米沢市の養豚場臭気状況を調査視察に再訪問する	山形県米沢市		夏場の状況調査				
810	24年8月			CTCルオール合併浄化槽での試験を添加量2倍量に変更	アグリ事業部						
811	24年8月			仙台農建による発酵プラントの屋根・外壁補修が完了	第一農場						580万円
812	24年8月			盛岡市農業委員会の視察受け入れ							
813	24年8月			農場全社員による環境対策の勉強会及び協議会を開催	本社会議室						
814	24年8月			美里町からの視察受け入れ							
815	24年9月			(株)インターベットの講習会に参加	盛岡市						
816	24年9月			東北大学より学生33名の農場視察受け入れ	町内全農場						
817	24年9月			CTCルオールコンポでの試験を添加量3倍量に変更	第五農場						
818	24年9月			飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける	全農場						
819	24年9月			青森県木造丸山の大规模農場周辺の臭気状況を視察	青森県						
820	24年10月			イワケンホローよりNEO東北の紹介を受ける			NEOクリアの紹介を受ける				
821	24年10月			第五脱臭槽濾材交換用の粉碎チップの搬入開始	第五農場						
822	24年10月			第五脱臭槽の濾材チップ交換作業を実施	第五農場		40m3*6台 計240m3搬入交換			約50万円	
823	24年10月			NEO東北と試験実施に向け打ち合せ							
824	24年10月			バイオ科学よりサンパルファ、ケイカールの紹介を受ける			臭気抑制と発酵促進用資材				
825	24年10月			第一農場の臭気測定調査が保健所等で行われる	第一農場		仙南保健所と宮城県保健環境センターで採材・検査				
826	24年11月			東北畜研セミナーに参加	登米市						
827	24年11月			試験用ケイカール入荷体制準備	第一農場						
828	24年11月			バイオ科学と試験用ケイカールについて打ち合せ	第一農場						
829	24年11月			ケイカール添加試験開始	第一農場		醗酵プラントにて試験			63万円	
830	24年11月			仙南養豚協会の研修会に参加	仙台市		ベネット青木社長の講演				
831	24年11月			色麻町より視察の受け入れ							
832	24年11月			試験用ケイカール入荷体制準備	第五農場						
833	24年11月			バイオ科学と試験用ケイカールについて打ち合せ	第五農場						
834	24年11月			ケイカール添加試験開始	第五農場		縦型コンポにて試験			84万円	
835	24年11月			バイオ科学による試験の現地指導を受ける	第五農場						
836	24年11月			東北大学の試験用子豚を宮城大学坪沼農場へ搬入供給	仙台市						
837	24年11月			宮城県養豚経営者会議の全員協議会に出席	松島町						

	時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
838	24年11月	仙南保健所より第一農場の臭気測定調査の結果が届く		3検体中1検体が不適合(基準値15に対し、16の結果)			
839	24年11月	農場全社員による環境対策の勉強会を開催	本社会議室				
840	24年11月	第五農場の臭気測定調査が保健所等で行われる	第五農場	仙南保健所と宮城県保健環境センターで採材・検査			
841	24年12月	NEO東北、セイグシステムとミタゲンの添加試験の打合せ					
842	24年12月	JA仙南養豚部会の研修会に参加	相馬市				
843	24年12月	(株)ダイヤによる新設堆肥舎の脱臭システム視察	山形県東根市				
844	24年12月	宮城大学へ試験用若牡豚を供給	仙台市				
845	24年12月	(株)ダイヤと発酵プラントの脱臭改善について協議		紙製から樹脂製フィルターへの検討			
846	24年12月	浄化槽RO膜処理装置関係のメンテナンスの実施	第一農場			49万円	
847	24年12月	仙南保健所より第五農場の臭気測定調査の結果が届く		3検体中1検体が不適合(基準値15に対し、17の結果)			
848	24年12月	NEO東北のミタゲンの添加試験前の水質分析を行う	アグリ事業部				
849	24年12月	NEO東北のミタゲンの添加試験開始	アグリ事業部			4万円	
850	24年12月	仙南保健所に第一農場の改善計画を提出	仙南保健所	目詰まり対策として樹脂製のフィルターに交換する計画			
851	24年12月	町役場農政課へ第一農場の改善計画を説明	町役場				
852	24年12月	発酵槽のハニカム脱臭のパッドを樹脂製のタイプに交換	第一農場			120万円	
853	24年12月	CTCルールの試験を分娩舎及び隔離舎で開始	第一農場				
854	25年1月	浄化槽管理関係の社内勉強会を開催		環境関係従業員を対象に群立機器より講師を招く			
855	25年1月	NEO東北のミタゲンの添加試験中の水質分析を行う	アグリ事業部				
856	25年1月	飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける	全農場				
857	25年1月	NEO東北ミタゲン添加試験水質分析結果の報告を受ける					
858	25年1月	におい・かおり環境協会 臭気対策セミナー(2日間)に出席	東京都	畜産関係の臭気対策について研修			
859	25年2月	宮城県農業士会農政推進懇談会へ出席	仙台市				
860	25年2月	試験用NDケーキ入荷保管場所整備	第一農場				
861	25年2月	試験用NDケーキ添加試験開始	第一農場			10万円	
862	25年2月	農場部全体勉強会を開催	本社会議室				
863	25年2月	バイオ科学による発酵プラント試験の現地指導を受ける	第一農場				
864	25年2月	バイオ科学による縦型コンポ試験の現地指導を受ける	第五農場				
865	25年2月	NEO東北のミタゲンの添加試験の散気ノズルの増設試験	アグリ事業部				
866	25年2月	宮城県養豚生産者会議の研修会へ参加	大崎市				
867	25年2月	浄化槽処理関係の凝集試験を実施	第一農場				
868	25年2月	NEO東北のミタゲンの添加試験の水質分析用サンプリングを行う	アグリ事業部				
869	25年2月	宮城県農業担い手サミットへ参加	松島町				
870	25年2月	宮城県養豚経営者会議の総会に出席					
871	25年2月	飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける	全農場				
872	25年3月	宮城県養豚研究会 研究集会に参加	大崎市古川				
873	25年3月	NEO東北ミタゲン添加試験水質分析結果の報告を受ける		特に成果は認められず			
	24年1月 ~ 25年2月	消脱臭対策運転費用	第五農場	CMWシステム稼働費用(薬剤費その他)		約800万円	
	24年1月 ~ 25年2月	消脱臭対策運転費用	第三農場	エアークリーンフィルター脱臭稼働費用(ファン電気量他)		約550万円	
合 計					期間合計額	約 1,760万円	約 2,570万円
					平成10年~25年2月までの臭気対策合計額		約 5億8,250万円

対策・試験・研究履歴⑧

平成25年3月～26年2月まで

P. 22

	時	期	項	目	場	所	内	容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
874	25年3月			農場部全体勉強会を開催		本社会議室					
875	25年3月			試験用NDケーキ添加試験停止		第一農場		特に良い結果は得られず			
876	25年3月			NEO東北より新たな試験の提案を受ける							
877	25年3月			発酵槽攪拌機のキャプタイヤケーブルをリール式に変更		第一農場		老朽化による発酵運転状況悪化の改善			約125万円
878	25年3月			宮城県農業法人協会の視察受け入れ		町内全農場					
879	25年3月			飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける		全農場					
880	25年3月			宮城県農業法人協会の研修セミナーに参加		柴田町					
881	25年4月			NEO東北と新たな試験について協議							
882	25年4月			農場部全体勉強会を開催		本社会議室					
883	25年4月			ゼム酵素の紹介を受ける							
884	25年5月			昨年3・8月訪問の米沢市の養豚場を調査視察に再訪問する		山形県米沢市		春季の状況確認調査			
885	25年5月			飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける		全農場					
886	25年5月			NEO東北の新たな試験用に農場原汚水を提供する		第一農場		宮城大学との共同試験用			
887	25年5月			農場部全体勉強会を開催		本社会議室					
888	25年6月			宮城県農業士会総会・研修会へ参加		仙台市					
889	25年6月			発酵プラントの屋根・外壁の補修工事を行う		第一農場		仙台農建		32万円	
890	25年6月			発酵プラントの発酵補助剤ケイカールの購入		第一農場		発酵状況により添加(負荷及び臭気の軽減)		22万円/1トラック当り	
891	25年6月			宮城大学より研修学生の受け入れ(3日間)		第一農場					
892	25年6月			宮城県養豚研究会 研究集会に参加		加美町中新田					
893	25年6月			農場リサイクル水製造(凝集沈殿)装置を導入		第一農場		浄化槽の負担軽減と処理費用の軽減			
894	25年6月			JA仙南養豚部会の研修会に参加		角田市					
895	25年6月			産業技術つくばセンターより調査に来場		第一農場		井戸関係			
896	25年6月			大河原中学校体験学習の受け入れ(2日間)		第一農場・アグリ					
897	25年7月			県大河原振興事務所による肥料分析用採材に来場		第一・五農場					
898	25年7月			エヌエス環境と臭気測定自主検査について協議							
899	25年7月			飼養衛生管理獣医師による巡回指導を受ける		全農場					
900	25年7月			農場周囲植栽について追加・補充の植樹を実施		全農場					
901	25年7月			県南防疫対策会議に出席		大河原合庁					
902	25年7月			発酵プラント発酵補助剤として廃食油の紹介を受ける							
903	25年7月			エヌエス環境による臭気測定自主検査を実施		第三農場		ガスクロマトフ分析測定を実施		30万円	
904	25年7月			宮城県中小企業家同友会 農業部会の視察受け入れ		町内農場・アグリ					
905	25年8月			県大河原振興事務所より肥料分析結果が出る				有害物質等問題なし			
906	25年8月			青森県横浜町の巨大農場周辺の臭気状況を視察		青森県					
907	25年8月			大河原町認定農家連絡協議会の研修会に参加		大河原町内					
908	25年9月			黒沢尻用水路土地改良区と排水質について協議		町役場庁舎					
909	25年9月			トーメック、極東開発による圧送ポンプ交換設置		第五農場		前回導入機の不調のため			
910	25年9月			NEO東北の宮城大学との共同試験の結果を受ける							
911	25年9月			東北大学より学生約30名の農場視察受け入れ		町内全農場					
912	25年9月			金ヶ瀬中学校体験学習の受け入れ(2日間)		第一農場・アグリ					
913	25年9月			宮城大学へ研究用子豚の提供		宮城大学坪沼					
914	25年9月			東北畜研定例勉強会へ参加		山形県東根市					
915	25年9月			農場部全体勉強会を開催		本社会議室					
916	25年9月			ダイカポリマー(株)より消臭資材アンドライトの紹介を受ける							

時 期	項 目	場 所	内 容	ランニングコスト	運転・使用経費	イニシャルコスト
917	25年10月		日本養豚学会(仙台大会)に参加	仙台市		
918	25年10月		第一農場の臭気測定調査が保健所等で行われる	第一農場	仙南保健所と宮城県保健環境センターで採材・検査	
919	25年10月		堆肥発酵処理に於ける廃食油の応用について情報収集			
920	25年10月		農場部全体勉強会を開催	本社会議室		
921	25年10月		ダイカポリマーより消臭資材アンドライトの説明を受ける			
922	25年10月		防臭用ネットフェンスの補修メンテナンス工事を実施	第五農場		70万円
923	25年10月		栗原農業改良センターより視察受け入れ	アグリ		
924	25年10月		脱臭槽交換用チップ入荷不可能の為、入れ替え延期	第五農場	県森連ウットリサイクルセンター火災事故の為、出荷出来ず	
925	25年10月		堆肥発酵プラントへの廃食油添加試験を行う	第一農場		
926	25年11月		宮城県家畜防疫演習に出席	大河原合庁		
927	25年11月		仙南保健所より第一農場の臭気測定調査の結果が届く		2検体共に適合の結果	
928	25年11月		宮城県国際農友会の視察受け入れ	町内農場・アグリ		
929	25年11月		ダイカポリマーと消臭資材アンドライトの試験について協議			
930	25年11月		宮城県農業士会 技術交流会へ参加	涌谷・大崎・美里		
931	25年11月		第五農場の臭気測定調査が保健所等で行われる	第五農場	仙南保健所と宮城県保健環境センターで採材・検査	
932	25年11月		東北畜研定例勉強会へ参加	登米市中田町		
933	25年11月		堆肥発酵縦型コンポへの廃食油添加試験を行う	第五農場		
934	25年12月		脱臭槽交換用チップ入荷可能になり搬入開始	第五農場		
935	25年12月		JA仙南養豚部会の研修会に参加	川崎町		
936	25年12月		仙南保健所より第五農場の臭気測定調査の結果が届く		3検体中1検体が不適合(基準値15に対し、17の結果)	
937	25年12月		発酵プラント投入側入口引き戸の補修について協議	第一農場	仙台農建	
938	25年12月		第五脱臭槽の濾材チップ交換作業を実施	第五農場	40m3*5台 計200m3搬入交換	約40万円
939	26年1月		エヌエス環境によるガスクロマトフ分析臭気測定検査を実施	第三農場	自主測定調査実施(ハニカムフィルター脱臭成果確認測定)	20万円
940	26年1月		エヌエス環境による臭気指数分析の測定調査を実施	第一・五農場	自主測定調査の実施	20万円
941	26年1月		発酵プラントの搬入口引き戸等の補修工事を行う	第一農場	仙台農建	38万円
942	26年2月		におい・かおり環境協会 臭気対策セミナーに参加	東京都	畜産農業における臭気対策について研修	
943	26年2月		エヌエス環境よりガスクロマトフ分析測定結果が届く	第三農場	畜産臭気9物質に於いて91.7~99.9%の脱臭率確認	
944	26年2月		エヌエス環境より臭気指数分析の測定結果が届く	第一・五農場	2農場共に10未満~13の低い結果(基準値15に対し)	
945	26年2月		仙南保健所と白石市に第五農場の臭気対策改善報告書を提出			
	25年3月 ~ 26年2月		堆肥処理の臭気低減の為、発酵助剤ケイカールの添加投入	第一・五農場		約220万円
	25年3月 ~ 26年2月		消脱臭対策運転費用	第五農場	CMWシステム稼働費用(薬剤費その他)	約600万円
	25年3月 ~ 26年2月		消脱臭対策運転費用	第三農場	エアークリーンフィルター脱臭稼働費用(ファン電気量他)	約50万円/月 約500万円
合 計					期間合計額	約1,600万円
					平成10年~26年2月までの臭気対策合計額	約 6億0, 045万円